

## エンゼルケアと排泄ケアの関係について

エンゼルケアは、死後に行う処置、保清、エンゼルメイクなどの全ての死後ケアを指します。このケアは、亡くなられた患者さんの尊厳を守り、ご家族に対する心理的な支援を提供する重要な役割を果たします。その中でも排泄ケアは、エンゼルケアの重要な一部を構成しており、遺体の衛生状態を保ち、感染防止のために必要不可欠なプロセスです。本文では、エンゼルケアと排泄ケアの関係について詳述します。

### エンゼルケアとは

エンゼルケアは、逝去時ケアとも呼ばれ、亡くなられた患者さんの身体を清潔に保つための一連の処置を指します。病院においては、患者さんが亡くなられた後、お見送りするまでの間に行われます。このケアは、尊厳をもって患者さんを送り出すためのものであり、ご家族の心情に寄り添いながら進められます。

### 排泄ケアの重要性

排泄ケアは、エンゼルケアの中でも特に重要なプロセスです。具体的には、以下のようなケアが含まれます

1. **尿道口・膣口・肛門のケア** 死後のケアでは、尿道口、膣口、肛門の清潔を保つことが重要です。これにより、遺体の衛生状態を維持し、感染のリスクを最小限に抑えます。尿もれの心配がある場合は、尿パッドや紙おむつを使用して対処します。
2. **膀胱部圧迫の注意** 死後、内臓の脆弱化が進んでいるため、膀胱部を圧迫すると損傷につながる可能性があります。そのため、膀胱部圧迫を避け、尿の排出を促すためには他の方法を選択します。
3. **感染対策** エンゼルケアの一環として、感染対策はスタンダードプリコーション（標準予防策）に基づいて行われます。ケアに参加するご家族には、マスクと手袋の着用をお願いし、感染防止に努めます。
4. **医療器具の取り外し** 医療器具や点滴・チューブ類を取り外す際は、注意深く行う必要があります。中心静脈カテーテルの取り扱いについては、施設のマニュアルに従って行います。
5. **口腔ケア** 死後1～3時間で顎部が硬直するため、口腔ケアは優先的に行います。ただし、口腔内が出血するような強いブラッシングは避け、優しくケアを行います。

### エンゼルケアと排泄ケアの関連性



2. **自律性の尊重 (Respect for Autonomy)** ケアレシーバーの自律性を尊重することは、質の高いケアの基本です。自律性の尊重とは、ケアレシーバーが自分の生活やケアに関する決定を自分で行う権利を尊重することを意味します。
3. **全人的アプローチ (Holistic Approach)** ケアは全人的 (ホリスティック) な視点から行うべきです。身体的なケアだけでなく、精神的、感情的、社会的な側面も考慮することで、ケアレシーバーの全体的な生活の質を向上させることができます。

### 排泄ケアにおける具体的な課題とアプローチ

排泄ケアは、ケアギバーとケアレシーバー双方にとって重要な課題です。以下に、排泄ケアにおける具体的な課題とその解決に向けたアプローチを示します

1. **プライバシーの確保** 排泄ケアでは、プライバシーの確保が重要です。ケアレシーバーが羞恥心を感じることなく、安心して排泄ができる環境を整えることが求められます。これには、適切な設備の提供や、ケアの方法を改善することが含まれます。
2. **コミュニケーションの改善** ケアレシーバーの望みや不安をしっかりと理解するためには、良好なコミュニケーションが不可欠です。ケアギバーは、ケアレシーバーの表情や言葉からニーズを読み取り、適切な対応をする必要があります。また、ケアレシーバーが自分の状態を正確に伝えることができるよう、サポートを提供することも重要です。
3. **選択肢の提供** ケアレシーバーの望む生活を支えるためには、選択肢を提供することが重要です。例えば、排泄用具や方法の選択肢を増やすことで、ケアレシーバーが自分に合った方法を選ぶことができます。これにより、ケアレシーバーの自律性と生活の質が向上します。
4. **継続的な評価と改善** 排泄ケアは一度設定したら終わりではなく、継続的に評価し、改善していく必要があります。ケアレシーバーの状態や望みは時間と共に変化するため、定期的な見直しとフィードバックを通じて、最適なケアを提供することが求められます。

### ケアの倫理的側面

ケアには倫理的側面も含まれます。特に以下の点が重要です

1. **尊厳の保持 (Maintaining Dignity)** ケアレシーバーの尊厳を保持することは、全てのケア行為の基礎です。排泄ケアにおいても、ケアレシーバーが尊厳を感じられるよう配慮することが必要です。

2. **信頼関係の構築 (Building Trust)** ケアギバーとケアレシーバーの間に信頼関係を築くことは、効果的なケアの前提条件です。信頼関係があれば、ケアレシーバーは安心してケアを受け入れることができ、ケアギバーも適切な支援を提供しやすくなります。
3. **社会的包摂 (Inclusion)** ケアされる人が社会から孤立しないよう、インクルージョン（社会的包摂）の視点を持つことが重要です。排泄ケアも含め、ケアの全ての側面で社会参加を促進し、ケアレシーバーが社会の一員としての役割を果たせるよう支援することが求められます。なお、社会的包摂とは、社会的に弱い立場にある人々をも含め誰もが、排除や摩擦、孤独や孤立から援護し、社会の一員として取り込み、支え合う考え方で、誰も排除されず、全員が社会に参画する機会を持つことです。

## 結論

排泄ケアは、ケアギバーとケアレシーバーの双方にとって重要な課題であり、相互関係性、自律性の尊重、ホリスティックアプローチなどの視点から総合的に捉える必要があります。ケアレシーバーの望みや生活の質を最優先に考え、プライバシーの確保、コミュニケーションの改善、選択肢の提供、継続的な評価と改善といった具体的なアプローチを実践することが求められます。また、ケアの倫理的側面を考慮し、尊厳の保持、信頼関係の構築、社会的包摂を重視することで、より質の高い排泄ケアが実現されます。これにより、ケアレシーバーの生活の質が向上し、尊厳を保持したケアが提供されることが期待されます。